



ウサギはどうしてふんを食べるの

特別のふんだけを食べる

ウサギやシカ、ウシなど、おもに草を食べている、草食動物といわれる仲間は、食べ物を簡単に消化して、栄養にすることができません。草の中のせんい質を、直接消化できる、消化液が出ないからです。

ウシなどは、いちど食べて胃の中に入った食べ物を、胃の中の微生物のはたらきで発酵させて、消化しやすくしてもらいます。それをもういちど、胃から口にもどして、かみなおして消化しています(これを、反すうするといいます)。

ウサギは、ウシのような大きな胃をもっていないので、腸の中の微生物が、せんい質を発酵させます。このとき、微生物が作りだしたたんぱく質やビタミンが、ふんと同じようなかたちで排せつされます。ウサギは、これを食べているのです。

食べるのは皮膜ふん

たんぱく質や、ビタミンなどをふくんだウサギのふんは、よく見る、丸くて黒いふんとはちがっています。膜をかぶった柔らかいもので、皮膜ふんといいます。ふつう、ウサギは、こう門に口をあてて、すぐ吸いこんでしまうため、皮膜ふんを人間が見ることは、あまりありません。

(監修・今泉 忠明)

